

平成28年度 首都高速道路事業評価監視委員会 議事要旨

日 時：平成29年2月21日(火) 10:00～11:30

場 所：首都高速道路株式会社 7階会議室

出 席：委員長 石田 東生（筑波大学大学院システム情報工学研究科 教授）
稲垣 昇（一般社団法人 日本自動車連盟 交通環境部長）
田中 里沙（株式会社 宣伝会議 取締役副社長兼編集室長）
根本 勝則（一般社団法人 日本経済団体連合会 常務理事）

（山内 弘隆 委員（一橋大学大学院商学研究科 教授）は所用のため欠席※）
※別途説明により意見を聴取済み

対 象：首都高速晴海線（再評価）、高速横浜環状北西線（再評価）

議 事：

1. 委員長選出：石田委員を委員長に選出
2. 事業評価について：再評価の制度について事務局より説明
3. 審 議：対応方針については原案どおり『事業継続』で了承

（主な意見）

○首都高速晴海線

- ・東京2020オリンピックにおいて重要な役割を果たす路線である。
- ・日本の顔となる路線であり、デザイン面や環境面の取り組みが評価できる。

○高速横浜環状北西線

- ・PI手法の導入が用地取得や工事の進捗に良い影響を及ぼしており、PIの良い事例になっていると思われる。
- ・沿線地域だけでなく、広域的な観光等にも利便性向上が期待される。

○共通

- ・ネットワークが繋がることの重要性が感じられる。
- ・インバウンド4,000万人時代において両路線とも重要な動脈となる。
- ・有効に活用してもらえるよう整備効果等を積極的に発信してもらいたい。
- ・一日でも早い開通を目指して事業を推進して頂きたい。

以 上